

発北総第 25 号
平成21年4月13日

自治会長 様

北栄町長 松本昭夫
(公印省略)

自治会リーダー防災研修会の開催について (依頼)

日頃より自主防災につきましては、大変お世話になっております。

さて、本町では全自治会に自主防災組織を作っていただくよう、お願いをしているところですが、現在約1/3の21自治会で組織化され、さらに来年度の総会で承認を受けるように進めておられる自治会がいくつかございます。

今回の研修会は昨年に引き続いての研修会で、既に組織化されている自治会でも組織の運営、訓練の仕方、要援護者支援の活用について、また、未組織の自治会では、自主防災組織の結成から運営まで幅広い話が聞けると思います。

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは十分な対応ができないことが予測されます。

このようなとき、住民が一致協力し地域ぐるみで災害への対応ができる組織運営・組織づくりのヒントにしていただきたく、自治会役員、自主防災組織の構成員の方は是非参加していただきますようお願いいたします。

記

- 1, 日 時 平成21年5月12日 (火) 午後7時30分
- 2, 場 所 大栄農村環境改善センター 多目的ホール
- 3, 講 師
 - ・みどり一区自主防災組織代表 林 邦臣 氏
「みどり一区自主防災組織の取り組みについて」
 - ・鳥取県防災局危機管理チーム 水中 進一 主幹
「自主防災組織の必要性と災害時要援護者支援」

4, 申し込み連絡先

平成21年5月8日 (金) までに
北栄町役場 大栄庁舎
総務課 地域防災室
電話 37-3111

災害は忘れたときにやってくる

地震の活動期に入っています(100年~150年に1度)

～自主防災組織を作しましょう～

“災害時は自分の身は自分で守る”

自助・・・7

- ・危機意識を家族で共有することが自助のスタートラインとなる
- ・平常時から十分なリスク認識が必要です
- ・ハザードマップで確認
- ・家族で安全な避難場所や連絡方法を話し合ったりしておく
- ・非常持ち出し品をすぐ手に出来る場所に用意したりしておく

共助・・・2

- ・地域の共助で生き延びる
- ・自主防災組織の必要性

救出救護・初期消火・避難誘導・安否確認

情報収集・伝達・避難所運営・炊きだし・要援護者の支援

公助・・・1

- ・公的救助の出動には時間がかかります
- ・公共施設や職員も被災者になる可能性もあります

(阪神淡路大震災の場合)

自助 67% 自力 34.9% 家族 31.9%

共助 31% 友人・隣人・通行人

公助 2% 救助隊・その他

北栄町総合防災訓練・・・9月27日(日)午前中 北条庁舎周辺

鳥取県防災フェスタ2009・・・10月25日(日)終日 白壁土蔵群周辺